



別府大学アジア歴史文化研究所研究員・教授

林 章

1923～1989

林 章 教授

略歴

- 1948年 京都大学文学部史学科卒業
京都大学大学院，名古屋大学助手，愛知学芸大学講師，大分城南高等学校教諭・校長などを歴任
- 1964年 別府大学文学部史学科講師
- 1975年 別府大学文学部教授
- 1981年 別府大学アジア歴史文化研究所開設と同時に研究所員兼任
別府大学学術訪中団員として中国雲崗石窟，敦煌石窟などを調査
- 1983年 第2次学術訪中団長として北京佛教遺跡，炳靈寺石窟，敦煌石窟，竜門石窟，鞏県石窟等を調査
- 1987年 別府大学文学部学生・中国歴史文化研修団を引率，北京，襄汾，西安，柳州，桂林，上海を歴訪，各地の遺跡，研究所，博物館等で指導

林 章先生は，1989年6月10日，1年有余の闘病にも拘らず薬石効なく世を去られた。惜まれてやまない。

1981年，研究所開設以来，研究所員として長年蓄積された中国史に関する広く深い学識を駆使し，さらに中国・韓国等の関係地域を度々踏査され，研究所の研究活動はもちろん後進の指導にも中心的な役割を果たされた。

先生の功績は，研究所の歴史の中に永久に消えることなく輝きつづけるであります。

別府大学アジア歴史文化研究所